

2007年8月31日

(これはロンドンにて8月23日に配信したものを、日本の皆様に向けて、抄訳したプレスリリースです)

スタンダードチャータード、インド大手の投資会社STCI社より UTISEL 社株式49%を取得

2010年までにUTISEL社株式100%取得のオプションを保有

スタンダードチャータード銀行（本店：ロンドン、CEOピーター・サンズ）が傘下にあるスタンダードチャータード・ピー・エル・シーは、8月23日付で、インド大手の投資会社であるSTCI社（Securities Trading Corporation of India Limited）と戦略的パートナーシップ契約を締結いたしました。これにより、当行は、インド有数の証券会社、UTISEL 社（UTI Securities Limited）の株式49%を概ね36百万米ドルで取得いたします。STCI社は、2006年、インド行政機関 Administrator of the Specified Undertaking of the Unit Trust of IndiaよりUTISEL社を買収。現在、同社株式100%を保有しています。

今回の締結により、本契約当事者は、当行が有するUTISEL社株式について、2010年までに段階を追って100%の保有となるよう、当局規制に準じてそのオプションを提供いたしました。

スタンダードチャータード銀行取締役であるジャスカル・ビンドラ（Jaspal Bindra）は、「今回の買収投資は、当行の証券取引業界への参入を示唆するという意味では画期的なものです。また、それがインドで開始されたことを喜ばしく思います。また、本日締結の戦略的パートナーシップ契約により当業界への足がかりができたわけですが、ここにはビジネス成長の多大な潜在性が秘められていると考えています」と述べています。

また、スタンダードチャータード銀行（インド）CEO であるニーラジ・スワロップ（Neeraj Swaroop）は、次のようにコメントしています。「この買収投資は、インドにおける事業規模拡大という、スタンダードチャータード銀行のコミットメントをあらわすものです。今回、拡大するUTISEL 事業にかかわるSTCIとの提携の機会を得ることができ、大変光栄です。同社は、店舗網が発達しており、プロフェッショナルな経営陣に率いられている企業です。今回の提携により、当行は、今後、インド国内におけるウェルスマネジメントおよびプライベートバンキングで提供する商品ラインアップを拡大したり、当行が事業拠点を置く国々に居住のインド人－印僑（NRI）向け金融商品ポートフォリオの幅を広げることができそうです」

STCI社代表取締役であるG.ナラヤン（G. Narayanan）氏は、「UTISEL社の戦略的投資家として、スタンダードチャータードを歓迎します。インドにおいて長年にわたり事業展開し、また、幅広い顧客ベースを有し、海外でも高い知名度を誇るスタンダードチャータード銀行が、UTISEL 社の企業価値を大幅に押し上げてくれるものと信じてやみません」と述べています。

UTISEL 社は、1994年に設立されて以来、機関投資家向け証券会社から、支店数41、提携店舗数174を誇る広範な顧客層向けの大手証券会社に成長しました。同社は、機関投資家およびリテール向け仲介業務、オンライン取引業務（www.usectrade.com）預貯金サービス業務、ポートフォリオ運用サービス、エクイティ関連調査業務、投資銀行業務、債券業務、第三者の金融商品販売業務において、確固たる地位を築いています。

* 当件に関するお問い合わせは東京支店コーポレートアフェアーズ部（Tel:03-5511-1245）にて受け付けます。

スタンダードチャータード銀行- アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータード・ピーエルシーは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100 構成銘柄の上位25 社にランキングされています。

スタンダードチャータード銀行は、創立以来150 年以上の歴史を誇り、アジア太平洋地域・アフリカ・南アジア・中近東・欧州・英国・米州の世界57 カ国で、店舗数1,400 強(当行子会社・提携会社・ジョイントベンチャーを含む)の広範な地域拠点を網羅するグローバル・ネットワークを駆使し、世界で急成長を遂げる数多くの新興成長市場において、事業展開を行っています。

世界有数の国際的銀行として、全世界で100 以上の国籍のよって構成される60,000 人余名の行員を擁しています。この多様性は、私どもが持つ企業価値の真髄をなすものであり、また、世界がひとつの市場として統合されつつある現在、当行の企業成長を支えています。

スタンダードチャータード銀行は、その戦略的買収・提携、安定した財政基盤、多岐多様にわたる事業分野・金融商品・地域性、そして当行行員に支えられた堅調なオーガニック成長(買収等を含まない事業自体からの収益成長)により、アジア・アフリカ・中近東地域の急成長を続ける新興市場において、当行の優位性を確保しております。また、その総収益9 割強がアジア・アフリカ・中近東地域から計上されています。

スタンダードチャータード銀行は、世界各国で、個人および法人向けサービスに特化したコンシューマーバンキング部門・ホールセールバンキング部門による両面での業務展開を行っていることから、顧客の皆様には、グローバルな視点に立ち、かつ各地域で培った高い知識・ノウハウを駆使して、広範で革新的な金融商品・サービス、また、数々の賞に輝く、実力に裏づけされたファイナンシャル・ソリューションを提供しております。

また、当行グループで一律に適用される企業統治(コーポレートガバナンス)および企業責任(コーポレイトリスポンシビリティ)に基づき、地域社会との一体性・環境保護・望ましいコーポレートガバナンスを図り、長期的なスタンスに立ち、確実に、サステナビリティ(持続的成長)のある事業構築を行っております。

2006 年The Banker(ザ・バンカー)賞において、スタンダードチャータード銀行は「最優秀世界銀行賞(グローバル・バンク・オブ・ザ・イヤー)」をはじめ、アジア太平洋とアフリカの主要2 地域において「地域最優秀銀行賞」、6 カ国での「最優秀銀行賞」、および「最優秀CSR(企業の社会的責任)賞」を受賞しております。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880 年にさかのぼり、今年で127 年目を迎えました。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店において、約250名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア、アフリカ、中近東の各地域に投資する日本企業および銀行に対して、ホールセール(大口金融)、カストディ、トレジャリーおよび貿易取引の各業務分野におけるサービスを提供、そして個人のお客様にはプライオリティバンキングサービスを提供しながら、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語): www.standardchartered.com/jp/index.html

日本におけるスタンダードチャータード銀行プライオリティバンキングのウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp/cb/pb/

スタンダードチャータード銀行 東京支店 コーポレート・アフェアーズ部

・森田 早智

Tel: 03-5511-1245

Sachi.Morita@jp.standardchartered.com

・部長 クリストファー・ドミター Tel: 03-5511-1361

Christopher.Domitter@jp.standardchartered.com